

## 第3次はだの行革推進プラン実行計画に係る進行管理、評価等について

平成29年6月2日 政策部行政経営課作成

## 1 第3次はだの行革推進プラン実行計画（平成28年3月策定。以下「実行計画」という。）

(1) 計画期間 平成28年度から平成32年度まで

(2) 内容 5つの視点に分かれた61の改革項目を掲載

視点		項目数	目標効果額 [千円]
1	合わせる《身の丈に合わせた行政経営の推進》	11項目	348
2	委ねる《担い手の最適化の推進》	16項目	231,767
3	量る《入るを量る施策の推進》	15項目	858,785
4	制する《出づるを制する改革の実行》	12項目	554,544
5	高める《質的改革への取組み》	7項目	—
		61項目	1,645,444

※目標効果額は実行計画策定期

## (3) 他の計画との関係

## ア 総合計画

実行計画は、総合計画後期基本計画（平成28年度から32年度まで）に掲載されている「**行財政改革の推進**」を具現化するもの。

総合計画後期基本計画における財政推計は、第3次行革推進プラン実行計画の実施・達成を前提としている。

## イ 公共施設再配置計画

行財政改革の主要な手段であるため、公共施設再配置計画の主要な事業を実行計画に併記している（効果額の合計からは除外）。

## 2 実行計画の進行管理及び評価

(1) 「第3次はだの行革推進プラン実行計画」進行管理実施方針（平成28年6月2日策定）

- ア 費用対効果と人口減少社会に向けた最適化を意識する
- イ 社会情勢の変化に即した行財政改革を進める観点から、見直しを視野に入れた柔軟な対応に努める
- ウ 市民と行政の相互理解のもと改革を進めていく必要があるため、分かりやすい表現に努め、積極的に公表する

(2) 進行管理の期間 平成28年度～平成33年度（6か年度）

(3) 進行管理の内容

- ア 進行管理6か年度のスケジュールイメージ

H28	改革主管課が改革項目ごとに実行方針を策定（済）		
H29	<b>毎年度、自己評価、内部評価及び外部評価を実施</b> <u>適宜実行計画を改訂</u>		
H30		中間報告	
H31			次期計画の検討
H32			次期計画の策定
H33 実行計画期間終了後		実行計画の総括	次期計画開始

### イ 3つの評価（自己評価、内部評価及び外部評価）について

	評価者	目的	評価対象
自己評価	改革主管課	現場が自律的に進行管理する。	全61項目
内部評価	行財政改善推進委員会 ※ 副市長を正副委員長とし、各部等の長で構成される庁内委員会	市が改革を推進するための状況把握及び評価を実施する。 重点項目（※）を位置づける。	全61項目
外部評価	行財政調査会 (行革推進専門部会)	外部の視点により、改革の実現をサポートし、又は改革項目の見直し等を通して人口減少社会に適応したプランとなるよう、意見等を行う。	実行計画全体

#### ※ 進行管理上の「重点項目」

- 1) 前プランからの継承で課題があるもの
  - ・ 積み残し (未実施、一部実施で継承した案件)
  - ・ 実績不振 (全部実施にも関わらず実績が芳しくない案件)
- 2) プランでの取組みの詳細が決まっていないもの  
目標効果額及び実行年度を「実行に向けた検討状況を踏まえ設定」としている項目など

### 3 実行計画の改訂

進行管理及び評価とあわせて、適宜会議に諮ります。